

林泉文庫とは

伊佐早謙が住んでいた林泉寺町にその名を由来する林泉文庫は、郷土史に関するものをはじめとして、自身の興味ある漢詩集や歌集など、その数は1万を超えています。伊佐早の没後、遺言により上杉家に寄贈され、その大半の1万1240冊が1938（昭和13）年に米沢図書館に寄託されました。この年は、1909（明治42）年に伊佐早も発起人として名を連ねた「財団法人米沢図書館」の運営が米沢市に移行し、「市立米沢図書館」として、より安定的な運営に舵を取り始めた年でもありました。

市立米沢図書館に寄託された「林泉文庫」は、その後の1953（昭和28）年に郷土米沢に関する書籍群を米沢図書館が購入します。山形大学附属図書館は1955（昭和30）年に6回に分けて購入、翌年には「林泉文庫追加分」として米沢図書館が約120点追加購入し、1964（昭和39）年に同館所蔵の「林泉文庫」687部を収載した『林泉文庫目録』を刊行し、世に「林泉文庫」の存在が知られるようになりました。

また、米沢女子短期大学図書館（現山形県公立大学法人附属図書館）、瑞龍院龍門図書館（白鷹町）が購入し、現在も各館で保管されています。

伊佐早謙と上杉茂憲、沖縄とのつながり

伊佐早謙は1858（安政4）年、上花沢信濃町（現米沢市東一丁目）に生まれます。10歳で家督を相続し、興讓館提学の片山弦斎の下で漢学を学び、経書の研究や作詩などの勉学に励みました。1874（明治7）年、16歳の時に置賜郡高嶺小学校（現飯豊町）に勤め、以来、松岬学校（現米沢市）、西置賜郡小出小学校（現長井市）、山形県師範学校（山形大学の前身のひとつ）で教鞭をとります。1884（明治17）年には米沢中学校教諭となり、1899（明治32）年の上杉家史料編纂を依頼されるまで勤めます。

上杉家の史料編纂を任せられると、上杉家をはじめとする奥羽、米沢の歴史編纂に取り組み、またその編纂過程の中で貴重な史料の収集を行いました。それが後に「林泉文庫」として収蔵されることになります。

上杉茂憲は1844（天保15）年、第12代米沢藩主上杉斉憲の長子として米沢城で誕生します。1866（慶応2）年に斉憲の名代で京都警固のため上洛、翌々年の鳥羽伏見の戦いから始まる戊辰戦争で米沢藩は会津討伐の先鋒に命ぜられました。

明治維新後の1881（明治14）年には第二代沖縄県令兼判事に任命され、名君上杉鷹山の善政に倣うように沖縄全島を視察し、島民の声に耳をかたむけ、旧来の慣例の抜本的改革を政府に提言します。残念ながら政府には受け入れられず、1883年、元老院議員に栄転する形で沖縄県令を免職となりました。

伊佐早謙は1890年に上杉家の史料編纂を依頼され、茂憲の御年譜の編纂も担当します。その一環として1924（大正13）年、第二代沖縄県令であった茂憲の事跡調査のために沖縄を訪問しました。その際に収集されたのが、今回展示している『北燕游草』（山形大学小白川図書館所蔵）や『御詩和韻集』、『御製併和詩』、『国学槐詩集』（市立米沢図書館所蔵）等の琉球漢詩文をはじめとした沖縄関係の書物です。その中で『香草斎詩註』（市立米沢図書館所蔵）の表紙貼紙には「書室常置 樅軒老人」とあり、林世功（琉球王国の官僚）の遺本として宝とすべきものであるとし、自室の書齋に常置したと書かれています。伊佐早は、当時散逸の危機に瀕していた琉球漢詩文を米沢に持ち帰り、のちに「琉球文伝」としてまとめました。

「林泉文庫」関係書籍・論文

青木昭博「伊佐早謙の沖縄調査と琉球漢詩」（『先人顕彰』、第21号、2013年）

新宮学「伊佐早謙撰 西方君記念碑と早期の「米琉」」（『山形大学歴史・地理・人類学論集』19号、2018年）

新宮学「近代山形の最初の郷土史家、伊佐早謙の仕事」（『西村山地域史の研究』36号、2018年）

岩本篤志編『米沢藩興讓館書目集成』第4巻 「林泉文庫書目／解題・解説（青木昭博）」、ゆまに書房、2009年
うるま市立中央図書館 市史編さん室編

「うるま漢詩ロード散策 蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業通信 No.1」、2013年
うるま市立中央図書館 市史編さん室編

「うるま漢詩ロード散策 蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業通信 No.2」、2013年
うるま市立中央図書館 市史編さん室編

「うるま漢詩ロード散策 蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業通信 No.3」、2014年
うるま市立中央図書館 市史編さん室編

「うるま漢詩ロード散策 蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業通信 No.4」、2014年
うるま市立中央図書館 市史編さん室編

「うるま漢詩ロード散策 蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業通信 No.5」、2014年
うるま市立図書館市史編さん係/編

『蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業研究成果報告書』、うるま市教育委員会、2015年
うるま市立図書館市史編さん係編『蔡大鼎の漢詩〈うるま・琉球の風景〉』、うるま市教育委員会、2015年

うるま市立図書館市史編さん係編『蔡大鼎関連資料集1 欽思堂詩文集 漏刻樓集 伊計村遊草』、
うるま市教育委員会、2014年

うるま市立図書館市史編さん係編『蔡大鼎関連資料集2 御詩和韻集 御製併和詩 経傳序集 国学槐詩集』、
うるま市教育委員会、2014年

うるま市立図書館市史編さん係編『蔡大鼎関連資料集3・上 意山堂詩集 官生鄭孝徳詩文集 呈文集』、
うるま市教育委員会、2014年

うるま市立図書館市史編さん係編『蔡大鼎関連資料集3・下 北燕游草 琉球正使毛國棟詩 林世功遺稿』、
うるま市教育委員会、2014年

うるま市立図書館市史編さん係編『伊計村遊草 訳注解説』、うるま市教育委員会、2014年

うるま市立図書館市史編さん係編『蔡大鼎関連資料集4 閩山游草 續閩山游草』、うるま市教育委員会、2015年

うるま市立図書館市史編さん係編『蔡大鼎関連資料集5 北上雑記 朱子記録』、うるま市教育委員会、2015年

うるま市立図書館市史編さん係編『蔡大鼎関連資料集6 續欽思堂集 聖覽詩文稿』、うるま市教育委員会、2015年

うるま市立図書館市史編さん係編『蔡大鼎関連資料集7 欽思堂詩文集』、うるま市教育委員会、2015年

うるま市立図書館市史編さん係編『蔡大鼎漢詩精選集 漏刻樓集・欽思堂詩文集』、うるま市教育委員会、2015年

市立米沢図書館編『林泉文庫目録 改訂版』、市立米沢図書館、1983年

市立米沢図書館編『米沢図書館100年』、市立米沢図書館、2009年

下平才次編『上杉文書目録 マイクロフィルム版』、市立米沢図書館、1969年

東海林静男代表 昭和61年～63年度科学研究費研究成果報告書

『「上杉家御讓本」の所在調査とその史的研究』、山形県立米沢女子短期大学、1989年